

研究室仮所属
研究プロジェクト（3Q）
学士特定課題研究
学士特定課題プロジェクト

説明会

融合理工学系
高田 潤一 山下 幸彦

研究室仮所属

- 仮所属とは
 - **学士特定課題研究を行う研究室**に、**系内措置**として早期に所属すること。
 - 研究室で行うことは、担当教員の指示に従うこと。
 - 仮所属の時期は、**4 Qの早い時期**（予定）。
- **目的**：学士特定課題研究を行う研究室に、早期に所属することにより、より深い研究を可能にする。
- 対象：**次の2つの要件を同時に満たす学生**
 - 学年：3年生以上
 - 系入学学生：融合理工学系に所属して2年半経過
 - 類入学学生：融合理工学系に所属して1年半経過
 - 単位：**入学後、総取得単位数が62単位以上である**こと。
（修得単位の分類は問わない。）

所属研究室の決定法

- 所属可能な研究室：融合理工学系専任の教授および准教授の研究室
- 配置基準・方法：**成績が上位の学生より，順番に**所属研究室を選択できる。
 - 選択時点で所属学生が0名の研究室には，どの学生も所属することができる。
 - 選択時点で所属学生が1名の研究室には，以下の学生が所属できる。
 - 成績が上位1/2以上
 - 成績が上位1/2未満であるが，自分より成績が下位の学生数が，この時点で所属学生数が0名である研究室の数以上
- 成績評価には，**3年次2QまでのGPT**を用いる。
 - 日本語コース学生においては，**各自の自己申告**と大学が発行する成績表提出に基づき，修得**英語開講科目1単位あたり0.01点がGPTに加算される**。（ただし、「融合理工学基礎」「システムデザインプロジェクト」，「社会デザインプロジェクト」，「システムデザイン&アセスメント」を除く。）
 - （参考）GSEP学生においては，**各自の自己申告**と大学が発行する成績表提出に基づき，修得日本語開講科目1単位あたり0.01点をGPTに加算する。（300番台科目のみ。） 3

注意事項

- 早期卒業のため，3年3Qから研究室所属する学生は，優先的に所属先を選択できる。
 - このときの研究室の所属人数は，**仮所属先決定時の内数**とする。
（例えば，早期卒業で2名所属した研究室がある場合，その研究室には所属できない。）
- 日本語コース学生とGSEP学生は，**独立に所属研究室を決める**。（研究室から見ると，最大で4名の学生が所属する。）
- 4年後期に学士特定課題研究申請資格がない場合，学生は所属の再決定を志願することができる。
 - 再決定を系が認めた場合は，次年度の学生の集まりに加えて，仮所属担当教員を決定する。
- 3Qの間に予備調査を実施し，学生に公開する（予定）。

研究プロジェクト

- **目的**：早期に「研究」に触れる機会を持つことにより，高度専門教育である大学院教育に具体的な興味・関心を持つ。
- 特定課題研究に先立ち実施する（単位数：0-0-2）
- 学生 7 グループ：UA, UB, UC, UD, UE, UF, UG
 - 班長を決める。
- 研究室 4 グループ：
 - すずかけ台（LS）
 - 大岡山 A（LOA）
 - 大岡山 B（LOB）
 - 大岡山 C（LOC）
- 学生の 1 つのグループは，**研究室 4 グループの中の研究室から 1 つつ研究室を訪問**する。
 - 3 Q の間に 4 研究室を訪問する。
 - **訪問する 4 研究室は系が機械的・ランダムに決定する。**
- 学生に担当教員名簿，教員に担当学生の名簿を配布する。各グループで連絡を取って，研究室を訪問する。

研究プロジェクト日程（予定）

- **第 1 回～第 2 回：10/2 9:00-12:15**
 - 実施方法の説明，融合理工学系の研究室の研究内容の紹介
- 第 3 回～第 9 回：10/3 - 10/16 LOC
- 第 10 回～第 16 回：10/17 - 10/26 LS
- 第 17 回～第 23 回：10/29 - 11/7 LOB
- 第 24 回～第 30 回：11/8 - 11/20 LOA
- （教員の都合により，訪問研究室順番が入れ替わることがある。）

学士特定課題研究

- **目的**：特定のテーマについて理論，実験，調査，計画等の諸手段を総合し，それまでに養成した学力を結集して専攻科目をより深く理解し，あわせて研究のまとめ方，報告書の作成及び発表の方法等を修得すること。
- 研究テーマなど具体的な内容は，仮所属先の指導教員と相談する。
- 研究報告書を提出する。
- 研究発表会で発表・質疑討論を行う。

学士特定課題プロジェクト

- **目的**：学士特定課題研究を終えた後，学士特定課題研究をさらに深める。
- 原則として，特定課題研究と同じ研究室に所属して実施。
 - ただし、**修士課程での指導教員が決まっており**，学士特定課題研究の指導教員と異なる場合，学生が希望すれば，前者教員を主指導教員（単独指導も可）とする。
 - 上記以外の理由で，学士特定課題プロジェクトを実施する所属研究室を変更したい場合は，指導教員，あるいは，アカデミックアドバイザーや系主任と相談すること。